

2019研修分科会開催案内

第4回 2019年10月3日（木） 13時～17時

会場：駒澤大学図書館 3階ガイダンスルーム

テーマ：連携・協働・共同 “One for all, all for one”



b.荒井さん, 今野さん,
坂巻さん, 松本さん



d.一ノ宮さん, 高橋さん,
羽田さん, 増山さん



c.佐々木さん, 飯田さん,
嶋村さん, 宮野さん



a.上田さん, 小川さん, 賀戸さん,
齋藤さん, 高橋さん, 深井さん



e.高坂さん, 増田さん,
宮原さん, 湯本さん

写真は第1回グループ討議

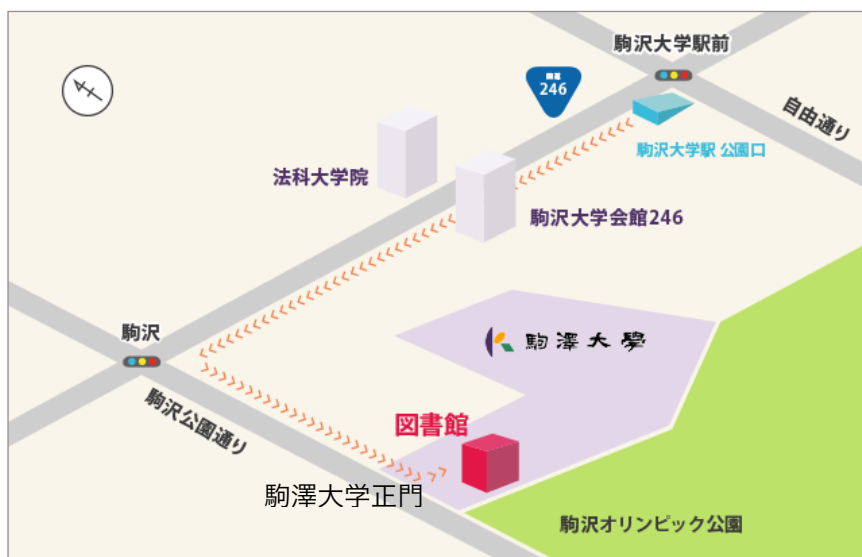
第1回にこれからの大学図書館の在り方を考えた時、大切なのは「協同」「協働」の視点ではないかと学びました。そして、グループ討議からも、学内の連携、教員の理解等を糸口に問題の解決策が挙げられていました。図書館を取り巻くステークホルダーは、学生、学内他部署、教員、他大学図書館、地域の図書館、書店や出版社、もっと身近に委託スタッフ等様々です。また、協働の形態も、学生サポーター、図書館間コンソーシアム、地域連携、などがあります。

Time table

13:00-14:00	講演1：大学図書館の連携
14:00-15:00	ワークショップ
15:00-15:15	ティーブレイク
15:15-16:00	講演2：共同分担目録
16:00-16:30	報告会について
16:30-17:00	駒澤大学図書館見学

今回は連携をテーマに、色々な側面での共同・協働について考えていきたいと思います。ラグビーW杯にちなんで「One for all, all for one」の精神で図書館業務を活性化していきましょう。見渡すとこの研修分科会からも連携のきっかけができそうですね。（IAAL 高野真理子）

会場案内



東急田園都市線「駒沢大学」駅下車。「駒沢公園口」出口から歩約10分。

正門を入れて右手の建物です。図書館入り口受付で研修分科会参加者であることを告げて入館してください。

講演1：大学図書館の連携

若生 政江氏（元城西大学水田記念図書館）

『連携』というキーワードで、学内の学生、教員、職員との連携、地域の公共図書館との連携、SALA(埼玉県大学図書館・短期大学図書館協議会)の取り組み、JPLA(日本薬学図書館協議会)やコンソーシアム交渉のこと、書店や出版者との協力など若生さんが今まで実践されてきたことをお話しいたします。

講演2：共同分担目録のこれまでとこれから

高野 真理子（大学図書館支援機構）

Technical Serviceの面でも共同分担の考え方が長らく図書館の目録業務を支えてきました。RDAや日本目録規則新版は、「関連」を重視した仕組みで、インターネット上で情報を組織化するアイデアを示しています。その中でNACSISのCAT2020等を俯瞰し、これからの共同分担目録を一緒に考えてみましょう。

ワークショップ

チームに分かれて、事前課題の連携の事例を分析して、新たな連携の形を提案してみましょう。全員分の提出された事前課題をUSBに入れて持参してください。（一人に1台PCをご用意くださいました。）

事前課題

所属する図書館が行なっている（もしくは行なっていた）連携・共同の事例を、対象ごとに表に記入してください。そして、その連携事例の成果と課題を簡潔にまとめてください。

提出期限：9月26日（木） 提出先：研修分科会メーリングリスト